

警察署協議会会議録

うきは警察署協議会

開催年月日時	平成27年12月2日 午後1時30分 から 平成27年12月2日 午後3時10分 まで	
開催場所	うきは警察署3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下5名
	警察署	署長、副署長 総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長
議事概要		
<p>【副署長説明】 副署長から「前回協議会以後、春日警察署員及び公安第三課員によるわいせつ事件が2件発生し、さらには留置管理課の警視が詐欺未遂事件を起こし、それぞれが逮捕された。県警職員が一丸となって「暴力団の壊滅」「飲酒運転の撲滅」「性犯罪の抑止」に取り組む中、警察署協議会委員の皆様、県民の皆様の信頼を損うこととなった。うきは警察署としてはこのような事案が発生しないよう署長以下の幹部が職員の指導を徹底すると共に全署員が心をひとつにし、職務にまい進し成果を上げ、信頼回復に努める決意をしている。」旨説明があった。</p> <p>【会長挨拶】 会長から「一年で最も忙しい時期である年末となった。先般、安全安心見守りカメラの増設取り組みについて、警察本部長から感謝状を頂いた。振り返れば一昨年前から取り組みを開始し、短期間で設置がかなったのは、警察署協議会の理解が得られたおかげでもある。関係機関等へは、さらに防犯意識の高揚に取り組んでいただくように話をしている。本年最後の協議会となるが、協議会委員、署員への協力にお礼を言いたい。」旨挨拶があった。</p> <p>【署長挨拶】 署長から「昨日、年末年始特別警戒活動の出陣式を行った。現時点では、刑法犯認知件数、交通事故発生件数ともに減少傾向にあるが、本年の目標である「刑法犯認知件数300件以下」「交通事故発生件数298件以下」を達成するには、まだ予断を許さない状況である。署員へは、本年の有終の美を飾るよう本日、指示をしている。地域では、防犯カメラの効果に人の防犯への関心が加わることで犯罪抑止力につながっている。協議会委員の皆様には引き続き御協力をお願いしたい。」旨挨拶があった。</p>		

議 事 概 要

【うきは警察署による報告】

- 1 うきは警察署管内の犯罪発生状況（平成27年1月～10月）
 - (1) 罪種別発生状況
 - (2) 町単位の発生割合
 - (3) 町別発生状況
- 2 うきは警察署管内の交通事故発生状況（平成27年1月～10月）
 - (1) 形態別発生状況
 - (2) 高齢者事故発生状況
 - (3) 町単位の発生割合
 - (4) 町別発生状況
- 3 特殊詐欺の現状等について
- 4 果実窃盗事件対策の取り組み結果について
- 5 声掛け事案の検挙と年末年始特別警戒の取り組みについて
- 6 福岡県飲酒運転撲滅条例の一部改正と年末の交通安全県民運動について
- 7 サミット対策について

【質疑応答等】

- 特殊詐欺の現状等報告で、生活安全課長から電話機に取り付ける振り込め詐欺防止機器の導入について説明を受け、委員から「機器の設置は、警察からの働きかけによるものか。また、機器は、電話機に取り付ける仕組みであるということだが、全ての電話に対して対策メッセージが流れるのであれば、設置に消極的になる人が出てくるのが心配されるのではないか。」との質問があり、生活安全課長が「警察側から一般の方に対し、働きかけを行い設置をしている。使用者が事前に登録した電話番号にはメッセージを流れないようにできる機能を備えている。」旨回答した。
- 委員から、「若い年齢層の人も詐欺の被害に遭うことがあるのか。また、ニセ電話の会話が数分間続いた例で、家族が不審点を感じとることはできなかったのだろうか。」との質問があり、署長が「若い年齢層の人も、不自然な高収入のアルバイトの話を手口とするものや、ネットショッピングで使用されるカードタイプのギフト券の番号を聞き出す手口の詐欺被害に遭うケースがある。また、一定時間、電話で通話しても初期に困った状況に置かれた家族であると一旦信じてしまうと、その後の看破は難しい場合があるようである。」旨回答した。
- 委員から「より一層、地域に密着した警察行政を推進していただくようお願いしたい。」旨、要望がなされた。

議 事 概 要

【閉会後の白バイ視察状況】

交通課長等から白バイの運用状況、装備、乗務員の訓練状況等について説明が行われた。

